

選択肢が増えて、
よりニーズに合った申請が可能となりました

断熱改修で、より快適な住まいを

利用者の声

暖冷房器具の使用頻度が減りました。
それにより光熱費が削減できました。

悩んでいた結露やカビがなくなり、
快適に過ごせるようになりました。

二重サッシにすることにより、
防音効果も上がりました。

補助金を利用することで、ワンランク上の
改修を行うことができました。

※平成31年度「断熱リノベ」「次世代建材」を利用された方々のご感想です。

断熱リノベ

次世代建材

事業名	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化促進事業(新築集合住宅・既存住宅等における省CO ₂ 化促進事業)) [高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業]		省エネルギー投資促進に向けた支援補助金 (住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業) [次世代省エネ建材支援事業]	
住宅区分	戸建住宅	集合住宅 (個別) (全体)	戸建住宅	集合住宅
補助対象となる申請者	●個人の所有者又は、個人の所有予定者		●個人の所有者又は、個人の所有予定者 ●賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可)	
事業内容	一定の省エネ効果(15%以上)が見込まれる、 高性能建材(断熱材、ガラス、窓)を用いた住宅の断熱リフォーム事業 <small>戸建住宅のみ 窓のみの改修でも申請可能です</small>		短工期で施工可能な高性能断熱パネルや潜熱蓄熱建材、調湿建材等の 付加価値を有する省エネ建材を用いた住宅の断熱リフォーム事業	
補助対象となる製品	断熱材 ガラス 窓 <small>戸建住宅のみ</small> 家庭用蓄電システム 家庭用蓄熱設備 (電気ヒートポンプ式給湯機) 家庭用設備は、高性能建材での改修を行い、太陽光発電システム等(10kW未満)が設置され、2021年3月末までにFITの契約が終了する方が対象		断熱パネル 潜熱蓄熱建材 窓 断熱材 玄関ドア 調湿建材 NEW 防災ガラス窓が対象になりました 上記は、断熱パネル又は潜熱蓄熱建材の改修に追加可能	
補助金交付の対象となる材料費や工事費の詳細については、SIIホームページなどから公募要領をご確認ください。				
補助率	高性能建材: 補助対象経費の 1/3 以内 <small>戸建住宅のみ</small> <ul style="list-style-type: none"> ●家庭用蓄電システム/設備費: 2万円/kWhまたは補助対象経費の1/3または20万円 いずれか低い方 ●家庭用蓄熱設備/設備費・工事費併せて1/3以内または5万円/台 いずれか低い方 		補助対象経費の 1/2 以内	
補助金額(上限金額)	1住戸当たり 120 万円※1 (窓のみ改修は40万円)	1住戸当たり 15 万円	1住戸当たり 200 万円※2	1住戸当たり 125 万円※2

※1 家庭用蓄電システムと家庭用蓄熱設備は、高性能建材の補助金額とは別途補助 ※2 下限金額: 1住戸当たり20万円以上であること